

秩父宮賜杯 第38回全日本大学駅伝対校選手権大会 要項

1. 主催 社団法人 日本学生陸上競技連合、朝日新聞社、テレビ朝日、名古屋テレビ放送
2. 運営協力 東海学生陸上競技連盟、愛知陸上競技協会、三重陸上競技協会
3. 後援 文部科学省、愛知県、三重県、名古屋市、伊勢市、日刊スポーツ新聞社
4. 支援 愛知県警察本部、三重県警察本部
5. 特別協賛
6. 協賛
7. 協力
8. 企画協力 株式会社アサツーディ・ケイ
9. 日程 開会式 11月4日(土) 16時「朝日ホール」(朝日会館15階=朝日新聞名古屋本社内)
競技スタート 11月5日(日) 8時10分スタート
閉会式 11月5日(日) 14時30分レース終了後「伊勢神宮会館講堂」(伊勢市宇治中之切町)
10. コース
区間 熱田神宮西門前(名古屋市熱田区神宮) 伊勢神宮内宮宇治橋前 8区間 106.8km
第1区 14.6km 熱田神宮前 愛知県弥富町筏川橋西詰(喫茶シャロウ前)
第2区 13.2km 愛知県弥富町筏川橋西詰 三重県川越町高松(高松交差点南)
第3区 9.5km 三重県川越町高松 四日市市六呂見町(山九株式会社前)
第4区 14.0km 四日市市六呂見町 鈴鹿市寺家町(中勢自動車学校前)
第5区 11.6km 鈴鹿市寺家町 津市上浜町(和食東きち屋前)
第6区 12.3km 津市上浜町 三重県三雲町(クリーニング米若・三重工場前)
第7区 11.9km 三重県三雲町 松阪市豊原町(JA松阪前)
第8区 19.7km 松阪市豊原町 伊勢市宇治中之切町(伊勢神宮内宮宇治橋前)
11. 出場資格
 - 1) 平成18年度(社)日本学生陸上競技連合登録者に限る。
 - 2) 前回大会で第6位(日大・中大・駒大・山梨学大・日体大・大東大)までに入賞した大学で、出場を希望するチーム。
 - 3) 出場校の決定方法は、8地区学連が各地区学連を代表するチームを日本学生陸上競技連合に推薦して決める。
 - 4) 各地区学連から推薦されるチーム数は19とし、各地区学連の代表校数は次の通りとする。
関東7校、関西4校、中国四国・九州各2校、北海道・東北・北信越・東海各1校
総出場チーム数は19チームと2)の6チームで25チームとする。
12. チーム編成 1チーム13名(監督1、マネージャー1、選手11)
なお、チームエントリーの段階ではさらに選手2名を加えて登録することができる。

13. 申込方法 日本学生陸上競技連合が配布する申し込み用紙に必要事項を記入し、平成 18 年 10 月 16 日(月)までにチームエントリー(11名)1部は大会事務局へ必着するよう申し込み、メンバーエントリー(正選手8名、補欠3名)2部は、健康に関する申立書を添えて、平成 18 年 11 月 4 日(土)13時までに必ず大会事務局(朝日新聞名古屋本社)へ持参提出のこと。(なお、チームエントリー用紙発送と同時に大会事務局へ電話連絡のこと。)
14. 監督会議 監督・マネージャー会議は、平成 18 年 11 月 4 日(土)午後 2 時 30 分から朝日新聞名古屋本社「朝日ホール」で行う。
15. 表彰 優勝校には秩父宮賜杯、日本学生陸上競技連合会長トロフィー、朝日新聞社優勝旗を授与する。1位から8位までに賞状・賞品を、また優勝校の監督に優勝監督賞を、各区分優勝者には区分賞を授与する。また、1位から3位に愛知・三重各県知事賞、特別協賛社から記念品が贈られる。
16. 宿泊 参加申し込みと同時に宿泊所の斡旋希望校は申し出ること。希望校には東海学生陸上競技連盟がコース沿線の適当な宿泊所を斡旋する。
17. 競技方法 競技は、平成 18 年度日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走規準、及び本大会実施要項により実施する。ただし、競走中に競技者が競技続行できなくなった場合、走者の交代は認めず、そのチームは失格となる。なお、希望があれば次の区分から走ることができるが、これ以降の区分記録は参考記録とする。
18. その他
- 1) 参加大学は、各大学のスクールカラーを用いたタスキを用意すること。
尚、タスキは、長さ：1.6~1.8m、幅：6cmを標準とすること。
 - 2) 公道に直接目印となるマーキングすることを厳禁とする。
 - 3) テレビ朝日 25 局ネットワーク(名古屋テレビ)で、11月5日(日)8時~14時20分まで放映される。
 - 4) 参加者は健康保険証(コピー可)を持参のこと。
 - 5) 本大会参加チーム(13名)の宿泊・交通費については、大会要項の規定により主催者が負担する。
 - 6) 本大会の事務局は下記の通りである。
〒460-8488
名古屋市中区栄1丁目3番の3号
朝日新聞名古屋本社企画部内 TEL 052-221-0303